

豊明市教育委員会 会議録
「定例会 平成２９年７月」

平成２９年７月１８日（火）午後２時３０分豊明市教育委員会７月定例会は、豊明市役所東館３階教育委員会室に招集された。

１ 応召委員は、次のとおりである。

教 育 長	：	伏 屋 一 幸	教育長職務代理者	：	市 野 光 信
委 員	：	青 山 佳 代	委 員	：	兼 子 幸 夫
委 員	：	久留島 夕 紀			

２ 不応召委員は、次のとおりである。

な し

３ 出席委員は、次のとおりである。

教 育 長	：	伏 屋 一 幸	教育長職務代理者	：	市 野 光 信
委 員	：	青 山 佳 代	委 員	：	兼 子 幸 夫
委 員	：	久留島 夕 紀			

４ 欠席委員は次のとおりである。

な し

５ 会議事件説明のため出席を求めたものは、次のとおりである。

教 育 部 長	：	加 藤 賢 司	学 校 支 援 室 長	：	下 出 修 史
学 校 教 育 課 長	：	馬 場 秀 樹	生 涯 学 習 課 長	：	高 木 安 司
図 書 館 長	：	糸 和 広			

６ 本会の事務に従事したものは、次のとおりである。

事務局（課長補佐）後 藤 明 紀、事務局（主事）近 藤 菜 保

本会事件は、次のとおりである。

議案

- （１）平成３０年度使用小中学校教科用図書の採択について

報告

- （１）平成２９年豊明市議会定例会６月定例会月議会一般質問について
（２）平成２９年度豊明市教育委員会研究発表会及び教育講演会について
（３）教育委員会後援申請について

その他

- （１）平成２８年度豊明市立図書館実績報告について
（２）ラジオ体操会開催について
（３）ナガバノイシモチソウ・大狭間湿地一般公開について

開 会 宣 言 午後２時３０分、７月定例教育委員会の開催を宣言。

会 議 録 承 認 ６月定例会（６月２０日分）の会議録について、承認する旨確認。

教育長 それでは、私の方から先回の教育委員会後の行事などの報告をいたします。まずもって、６月２２日に実施された「さわやかＤＡＹ」には、委員の皆さんにもご参加いただきありがとうございました。当日は公用車で市内を巡回させていただきましたが、大変多くの方々が子どもたちのために見守りをしている様子がよくわかると同時に、改めて感謝の意を強くした次第です。次に、６月２４日の午前中に、唐竹小学校で統廃合についての意見交換会があり、午後からは、中央小学校でネットワーク会議があり出席してまいりました。午前中の唐竹小学校では、５月８日付けで、市長宛に提出された学校統合に関する要望書への回答を行い、その後意見交換を行いました。ちなみに、要望書の内容は、「要望書には文書で回答してほしい」、「双峰小・唐竹小両校に生じている課題を具体的に明示してほしい」、「豊明市が考える、より良い教育環境を具体的に明示してほしい」、「教育委員会が行った統合検討に対する市長の考え方を明示してほしい」、「保護者との意見交換会においての市長の威圧的な態度を改善してほしい」、「統合検討委員会の場での唐竹小学校ＰＴＡより提示した意識調査などの資料の活用を図ってほしい」という６項目であります。意見交換の主な内容は、教員へのアンケート結果を見ると、「少人数校のほうが、学校運営がやりやすい」という意見が圧倒的に多いが、「なぜ統合なのか。他校ではクラス替えのせいで不登校になった子どももいる。学校全体の人数よりも１クラスあたりの人数が何人かが問題では」、との意見がある一方、「仮に統合と決まった後のフォローは市長にきちっとやってほしい」、「学校の建物は避難所として残してほしい」、「全体的な将来ビジョンを提示すべき」、「双峰小・唐竹小のどちらの校舎を使用するのかわからないなどあいまいな面が多い」、などの意見もあり、「統合後のイメージをはっきりさせて、総合的に考えるべき」、という意見も出されました。この統合の件については、７月１１日に第７回の統合検討委員会も開催されておりますので、その件も併せて報告いたします。当日は、はじめに唐竹小学校ＰＴＡが実施した保護者の意識調査結果について、事務局から簡潔に報告したのち、市長への答申案の検討に入りました。意識調査結果についてはこれといった質疑はなく、答申案の検討に入りました。答申案は、両校が小規模校である現状から、学習面、学校生活面、学校運営面での良い点と課題について言及するとともに、今後の両校のより良い教育環境についても同様に学習面、学校生活面、学校運営面について言及するつくりとなっています。この中で特筆すべきものは、「１クラスあたりの人数を全学年３５人以下とすること」、「外国籍児童に対する日本語支援を強化すること」、さらに、保護者アンケートなどの結果から、「多くの友達や先生とめぐり合える数として、１学年あたりの人数は１００名弱が妥当であり、また、１学年２クラスまたは３クラスが望ましい」、という記述があります。３５人以下の学級とすることで、４０人学級と比べ教員数が増え、教師の校務分掌の負担が軽減され、担任同士がお互い研究しあうことができるようになる。子どもたちはより多くの友達や先生との出会いが可能になる、という内容となっています。答申案に対する意見として、「統合することで、現在の課題が解決できるものもあるが、解決できないものもある」、また、「統合することによって新たな課題が生じる場合があるので、それらをまとめた答申書にすべき」、「将来的な教育ビジョンにも言及すべき」、「外国籍児童の日本語教育は課題だが、彼らがいることで、子どもたちは日常の中で自然な形で多文化に触れることができる。統合で多くの外国籍児童が一緒になるのはメリットとして記述すべき」、などの意見が出されました。これらの意見を踏まえた答申案を再度作成し、次回８月１日の委員会で最終決定することになりました。以上、統合に関する件を終了し、報告を続けます。６月２４日午後の中央小ネットワーク会議では、食物アレルギー児童への対処の仕方や、そもそもアレルギーとは何かという点について子ども元氣クリニックの石川先生から説明を受けました。その後、通学時に見守りなどで協力いただいているボランティアの方々との意見交換が行われました。主な意見として、「下校時間が変わる場合は事前に見守り隊に連絡してほしい」、「道路で遊ぶなど悪いことをしている子に注意するがな

かなか聞いてくれない。学校で十分指導してほしい」、「下校が全て終わったかどうか見守り隊にはわからない。学校から教えてほしい」、などの意見が出されました。携帯電話をお持ちでない方も多く、とっさのときの連絡は教師が見守り隊の方々のところへ出向くわけですが、間に合わないものも多く、対処が非常に難しい問題だと感じました。6月28日開催の子どもの安全安心地域連携連絡協議会の折にも、同様の意見が出されていました。次に、6月27日に開催された愛知地区の第1回部活動検討委員会についてです。教員の多忙化解消と生徒の自由時間の確保を目指し、愛知地区の4市町で協議を進めています。今回は、基本方針として、4市町で同一の基準を作り、来年4月から実施していくことで一致しました。具体的な内容として、「平日のうち1日は部活を行わない」、「土日のうち1日は部活を行わない」、「家庭の日は部活を行わない」、「テスト週間・期間は部活を行わない」、「年末年始の休業日は部活を行わない」、「長期休業期間の土日は部活を行わない」、「朝練習については本年度継続して研究し、来年度に具体的に決定していく」、ということで一致しました。次回は、原則論にならないようにするにはどうしたらよいか、などについて話し合う予定です。次に、6月30日に愛知地区の教育長連絡会が行われ、来年度から試行される英語の教科化に向けた取り組みについて意見交換しました。各市町とも授業の形態や時間配分など、具体的な方法を研究中であり、継続して情報交換していくことで一致しました。併せて、来年度から給食での牛乳の廃棄が産業廃棄物として取り扱われる件について情報交換しましたが、法律的な解釈の問題と予算の問題があり、各市町とも結論を出していない状況であり、これも継続して情報交換することになりました。7月4日の尾張部都市教育長会議でも、本市から牛乳の廃棄について意見を聴取しましたが、方針未定の市がほとんどでありました。次に、7月8日に女性団体との意見交換会がありましたので、報告いたします。28団体44人の方が参加し、市長、副市長、教育長で回答していくという方法で行いました。教育に関する意見は、「図書館の指定管理化を考えているのか」、「図書館の読み聞かせの場所の確保が難しい」、「喫煙所の位置が悪いのではないか」、などの意見が出されました。図書修理ボランティアの団体からは、「図書館だけでなく、学校からも修理の依頼が来るようになり、やりがいがある。図書館を通じてどんどん申し込んでほしい」、という嬉しい意見もありました。最後に、同じく7月8日の午後2時から、スポーツ大会の合同開会式後、スポーツ講演会として、本市星城高校出身で北京オリンピック女子ソフトボール金メダリストの馬淵智子さんをお招きし、夢を持つことの大切さや、努力することの大切さなどについてお話をいただきました。実体験に基づくお話は非常に興味深いものでありました。講演終了後には、サイン会や写真撮影など気軽に応じてくれ、和やかな会となりました。なお、当日は約150名の参加者がありました。そして、7月14日には、愛知県市町村教育委員会連合会総会に参加してまいりました。以上で私からの報告を終わります。今の報告につきまして、ご意見ご質問等はありますでしょうか。

委員 愛知地区の教育長連絡会での英語の教科化に向けた情報交換についてですが、7月7日付けで文部科学省から官報で告示が出ていましたが、本格実施までの間、来年度から総合的な学習の時間を使って、英語活動を年15コマまで増やすということですが、それも影響があるのでしょうか。

教育長 総合の時間を使うというのは、そのときにはまだ話は出ていませんでしたが、1時間使ってやるか、帯の時間でやるかでは、随分負担も違うのではないかと思いますし、DVDなどの教材を使って、毎日15分程度やっていくほうが効果があるのではないかと思います。そもそも、英語を指導できる教員が小学校では不足しており、それをどのように克服するかということもあります。予算があるところは、民間業者に頼んでALTを増やすこともできますが、そうでないところは難しいと思います。愛知地区の4市町で人事異動もありますので、本当は同じようなやり方でできるいいと思うのですが、最終的にどのくらい予算措置ができるかということにもより、足並みがそろえられるかどうかは、まだわからない状況です。そろそろ予算も決めていかないといけないので、各教育委員会の内部で話を詰めて、教育長連絡会で話することになると思います。

委員 教育長連絡会の後に官報で出たので、これから話題になるかもしれないと思います。

教育長 その他ご質問等よろしいでしょうか。

委員 部活動検討委員会ですが、運動系ですと競合相手よりも、と練習が増えていきがちですの
で、方針について非常に納得する内容でありました。今提示されたくらいがよいのではないかと
感じましたので、意見として申し上げたいと思います。

教育長 部活動検討委員会当日は下出室長も出ていただきましたが、コメントはいかがですか。

学校支援室長 教育長が言われたとおりでありまして、先ほどの方針を4市町で共通理解した上で、
平成30年度からスタートできるように、あと2回会合を持つことになっておりますので、原則
論はなくして、こうあるべきであるという筋を作っていきたいと考えております。

教育長 朝練は引き続き検討していくということになりましたので、決めたらやっていくというこ
とで進めていきたいと思っています。その他ご質問等よろしいでしょうか。(なし)

議 事 の 経 過

教育長 それでは議事に入ります。議案(1)「平成30年度使用小中学校教科用図書の採択につい
て」ご説明をお願いいたします。

学校支援室長 (資料第1号に沿って説明を行う。)

教育長 では、来年度使用する教科用図書について、平成29年度と同一の発行者でよろしいでし
ょうか。(異議なし)続いて、小学校用の道徳の教科書についてお願いします。

学校支援室長 (資料第1号に沿って説明を行う。)

(各委員が意見を述べ、光村図書出版の道徳の教科書を使用することに決定。)

教育長 議案は以上となりますので、報告に移ります。報告(1)「平成29年豊明市議会定例会6
月定例月議会一般質問について」ご説明をお願いします。

教育部長 (資料第2号に沿って説明を行う。)

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。

委員 今豊明市内の小中学校で、色覚異常で配慮しなければならない児童生徒はいるのでしょ
うか。

学校支援室長 いることは間違いないと思いますが、何人いるかまでは把握しておりません。

教育部長 現在学校では、どの子が色覚異常かはほとんど把握していませんが、普段からそのよう
なことがあることを承知して授業をしています。蛍光色のチョークを使用したり、クラスで同じ
対応の中に、さりげない配慮をして授業をしています。

教育長 他にご意見ご質問はありますか。

委員 近藤善人議員の、中学校の部活動と中一ギャップについてのご質問は、どのような意図があるのでしょうか。

教育部長 部活動については、教職員への負担が大きいということで、もう少し穏やかにしていくのがよいのではないかと考えています。中一ギャップについては、小中学校の連携をもっと進めていくと同時に、小学校に入る前として、幼稚園、保育園ともしっかり連携してほしいということでした。

教育長 他にございますか。

委員 蟹井議員のどう塾についての質問の関連で、平成29年度はどのくらいの人数が来ていて、学力としてはどの程度の子が来ているのかが分かれば教えてください。

学校支援室長 昨年度と同様で90名弱、学年の割合は、半分が1年生、あと2年生と3年生がその半分ずつです。今年傾向が変わった点として、特別な支援を要する生徒が通っています。保護者の方も、そのような場で学習の機会を求めているのだということを感じました。学習している雰囲気は、昨年度に増して真剣に取り組んでいると指導者から聞いております。

委員 指導者も増えたということで、とても心強く、輪が広がってありがたいと思います。

教育長 その他ご意見ご質問等はよろしいでしょうか。(なし) 続きまして、報告(2)「平成29年度豊明市教育委員会研究発表会及び教育講演会について」ご説明をお願いします。

学校支援室長 (資料第3号に沿って説明を行う。)

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。(なし) 続きまして、報告(3)「教育委員会後援申請について」ご説明をお願いします。

学校教育課長、生涯学習課長、図書館長 (資料第4号に沿って説明を行う。)

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。(なし) では、報告は以上となりますので、その他に移ります。その他(1)「平成28年度豊明市立図書館実績報告について」ご説明をお願いいたします。

図書館長 (その他資料①に沿って説明を行う。)

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。(なし) 私から質問ですが、図書館活動指標があり、一人当たりの貸出冊数などのデータがありますが、図書館の利用者の満足度は何で測るのがよいのか、どうなることが満足度が高まることになるのか、図書館では今どのように考えていますか。

図書館長 一番注目されるのは貸出冊数ではありますが、最近は個別に調査に来られる方も増えており、それに対して応えていく必要があると思います。満足度については、来館者調査等を行なっていく必要があると思いますが、これについては近年ですと、昨年12月に市長部局で行なった「おもてなしアンケート」があり、それに対する回答数は図書館が一番多く、利用者からは良い回答をいただいていたと認識しています。

委員 これに関連して、一般書を多く借りる人もいれば、いざとなったら図書館にあるというような専門書など、利用者のニーズはそれぞれあると思います。

教育長 ソフト面は図書館長が先ほど言われたとおりで、ハード面は予算のこともありますが、休息室や学習できる部屋などの整備に対する要望もかなりあり、そのようなところも満足度に関わってきますので、また問題を整理してやっていきたいと思います。その他よろしいでしょうか。（なし）では、続きまして、その他（２）「ラジオ体操会開催について」ご説明をお願いいたします。

生涯学習課長 （その他資料②に沿って説明を行う。）

教育長 今の説明につきまして、ご質問等ありますか。（なし）では、続きまして、その他（３）「ナガバノイシモチソウ・大狭間湿地一般公開について」ご説明をお願いいたします。

生涯学習課長 （その他資料③に沿って説明を行う。）

教育長 今の説明につきまして、ご質問等ありますか。（なし）では、次回の教育委員会の日程についてお願いします。

学校教育課長 （８月２２日（火）午後２時３０分から８月定例教育委員会を開催、９月１９日（火）午後２時３０分から９月定例教育委員会を開催する旨提出。）

教育長 他にございますか。（なし）

教育長 閉会宣言 午後４時１５分、７月定例教育委員会の閉会を宣言。